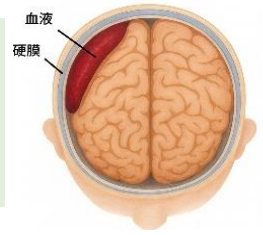




まんせいこうまくか けっしゅ 慢性硬膜下血腫

硬膜下血腫とは、頭蓋骨の外側に三層の膜があり、軟膜、くも膜、硬膜の硬膜下に出血がみられる病気です。頭部に傷を負ってから数週間から1ヵ月経過した後、じわじわと出血が起こることで発症します。
“そういえば頭を打ったことがあった”と振り返って発覚する場合があります。



慢性硬膜下血腫の症状

●鈍い頭痛・頭重感

持続する頭痛や頭が締め付けられている、ぼーっとする等の症状が続く

●言葉が出にくい

ろれつがまわりにくい
字が書きにくい



●手足のしびれ

力が入りにくくなったり、
物が持てなくなったりする



●記憶障害

もの忘れやぼんやりした様子がみれる
感覚が鈍くなる

●手足が動かしくい

半身の神経の麻痺
などにより動きが鈍くなる



●意識がもうろうとする

意識障害が起こったら
直ちに救急車を呼びます

注意が必要な人

●血をサラサラにする薬を服用している人

抗凝固薬や抗血小板薬を服用している人は
出血が多くなり命の危険性があります

●高齢者

麻痺やしびれがわかりにくい
ため
病状が悪化する危険性があります

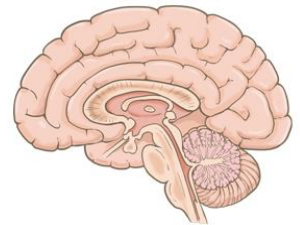


●アルコールを多量に摂取している人

発症リスクが高く、病態が悪化しやすい

●動脈硬化、貧血のある方

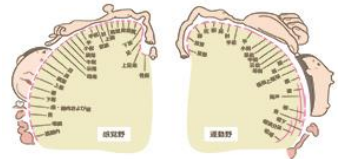
病態が悪化しやすい



病態

脳の外側に血液が溜まるために、脳が圧迫されて、色んな症状が出てきます。

基本的には、脳出血や脳梗塞とは違って、血腫を除去することで、後遺症を残すことなく症状は安定します。



診断・治療



主に頭のCT検査やMRI検査を行います。

血腫の量が少なければ様子観察をすることもあります。

局所麻酔にて穿頭血腫ドレナージ術をします。

頭を打ったときの注意書

今後の受診の目安や、
小児の場合の注意事項など
頭を打ったら、すみやかに受診を
してください。

危険のリスクがある場合に
注意書きをお渡し致します。

※頭の骨は折れても痛みを
感じません。受診時には
レントゲン撮影をします。



まとめ



若い方でも強く頭を打った(スポーツや事故など)

飲酒中の転倒、抗血小板薬の内服中の頭部打撲

徐々に頭痛がひどくなるなど、すみやかに受診をお勧めいたします

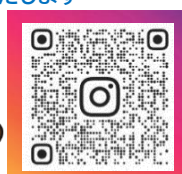
手術適応と診断になりましたら、近医の総合病院へ
直ちに搬送、または紹介いたします。

熱中症に気をつけましょう

健康診断

自分のため、
家族のために
早期発見!

年に一度は
健診を受けましょう!



Instagram
@KAGAWA_CLINIC
フォローお願いします!



当院の情報をホームページから
見れます!

かがわクリニック



検索

医療法人社団 清明会
かがわクリニック

兵庫県加西市北条町西高室595-11

☎ 0790-43-8887